

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

## ② 施設・事業所情報

名称：キッズビレッジつくし保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：大竹美智子	定員（利用人数）：60名（69名）	
所在地：横浜市旭区笹野台4-11-19		
TEL：045-360-6656	ホームページ： <a href="http://www.kid-tsukushi.jp/">http://www.kid-tsukushi.jp/</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2002年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人つくし会		
職員数	常勤職員：18名	非常勤職員：16名
専門職員	保育士：26名	栄養士：1名
	管理栄養士：1名	
施設・設備 の概要	乳児室：3室	幼児室：3室
	沐浴室：1室	調理室：1室
	事務室：1室	職員休憩室：1室
	地域子育て支援室：1室	園庭：198㎡

## ③ 理念・基本方針

## 【保育の理念】

未来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、保育をしていきます。

未来への可能性を秘めたかけがえのない子どもたちが、まわりの人々に愛され、日々の生活や遊びの中で、心にひびく多くの体験を積み重ね、子どもたちの人格形成の基礎を育てていきます。

更に、子どもの最善の利益を考え、豊かな物的、人的、空間的環境をデザインし、子どもが自ら育とうとする力を支え、瞬間を生きる子どもの願いを実現し、葛藤を乗り越え共に育ちあう集団の中の一人として、健やかに自信を持って生きていけるように支援していきます。

## 【保育目標】

じぶんがすき・ひとがすき・たくましく主体的に遊べる子

## 【保育方針】

- ・一人ひとりの個性を大切に育みます
- ・成長発達に沿った、支援を進めていきます
- ・探索活動で自分の好きなことを見つけて楽しめる力を育みます
- ・豊かな感性とのびのびとした身体を育てます
- ・子どもを主体とした保育を進めます

## ④ 施設・事業所の特徴的な取組

## 【立地および施設の概要】

キッズビレッジつくし保育園は、相鉄線三ツ境駅から徒歩10分の静かな住宅地にあります。近隣に多くの公園があり、それぞれ遊具に特徴があるので、年齢、子どもたちの希望などを考慮して散歩の行先を決めています。また、緑地帯や自然が豊富な公園もあり、自然遊びや散歩が可能です。姉妹園の幼稚園が近くにあり、温水プールを借りています。

**【園の特徴】**

定員60名（在籍69名）、0～5歳児の6クラスで編成しています。クラス内の発達に合った遊びや生活を保障するとともに、幼児クラスはクラス間の壁を低くして異年齢間の遊びや生活の機会を多く持っています。職員体制としてチーム保育を意識し、全園児の育ちを全職員が共有し、子どもたちを取り巻く安全、安心の人的環境の確保を目指しています。専任講師による体操・プール・わらべ歌・リトミックを取り入れて多様な経験をする保育環境になっています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年6月26日（契約日）～ 2021年1月28日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（平成26年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

**1. ワクワク感が広がり様々な遊びを楽しめる環境構成**

子どもたちが興味を持ち、発見を喜び、挑戦でき、夢が広がる環境を大事にしています。発達に合わせた玩具、遊具、絵本、ごっこ遊びなどのコーナーを設け、自ら遊びを選び、集中して遊びこめる環境を整えています。制作中の物は棚に置いて、いつでも続きができ、完成する喜びを知ることができます。ホールの2階に様々な工夫がある回廊があり、ターザンロープ、アスレチック遊具を設け、途中の小部屋に木製ブロックや縫いぐるみがあります。広いホールでは活動的な遊びができ、パーティーションで仕切った空間で絵本を見ながら静かに過ごすことができます。園舎の外周囲に外回廊があり、外気を味わえ、ピーマンなどの野菜を育て、長年亀を飼育するなど自然に親しむことができます。散歩先の公園では思い切りかけ回り、木の実や虫を探して自然に接しています。これらを通じて子どもたちは自ら想像力豊かにし、活発に楽しい日々を過ごしています。

**2. 職員育成への取り組み**

保育士の将来的な姿を明確にしたキャリアパスモデル表があり、入職後の経験年数・職位に応じて必要な職務・資質・能力を明確にしている。職員は、自分の立ち位置や取り組む方向性を理解しています。また、年度初めに園長と面談してモデル表を参考に年間研修計画を立て、年度半ばと年末に計画と実績について評価し、次年度に反映し、レベルアップに努めています。

**3. 地域との協働**

地域との協働を通じて把握した福祉ニーズに基づき、積極的に活動に取り組んでいます。子どもたちは職員と地区自治会による公園愛護会活動に参加して公園の花植え、水やり、清掃、砂場の消毒を行い、また、散歩時にはゴミ拾いを行っています。地域の子育て世帯に受けて紙芝居、エプロンシアターを楽しむ機会を設け、また、自治

会に遊具を貸し出したり、自治会館に保育士が出向き遊びのノウハウを伝えてい  
ます。園長は地域の防災委員を担い、職員が防災訓練に参加し、AEDや防災備品の貸し  
出しに協力しています。

◇改善を求められる点

**1. 中・長期計画、年度事業計画に関する具体的な行動計画の作成**

中・長期計画、年度の事業計画を作成していますが、収支計画（財務面の裏付け）  
は明確になっていません。収支計画を作成するとともに、具体的な実施項目、主担  
当、実施時期を明示し、実施状況の評価・見直しをすることが期待されます。

**2. 指導計画実施結果についてさらなる職員間での意見交換の実施**

指導計画についてクラス内で評価・反省し、共有しています。さらに、クラス外の  
職員とも意見交換し、互いの学び合いや意識向上につなげ、保育レベルのさらなる向  
上を目指すことが期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

新型コロナウイルス感染症禍での受審ではありましたが、園観察、聞き取り等、十  
分な配慮の中進めて頂き、無事受審できたことに安堵してます。

今年度はコロナ感染という事態で、保育は思うように進みませんでした。今まで  
の保育内容を踏まえた評価を頂けたと思います。

評価が高い点について

1. 保育環境では、子どもの遊び環境を考えて保育を進めている為、日々の努力が反  
映されていると感じます。
2. 職員育成については、一人ひとりの課題やキャリアへの意識が高まりつつあり、  
更に人材育成を進めていきたいと思えます。
3. 地域との連携・交流では、地域の場所、人、物とのつながりを大事にしている  
為、自分たちでできる交流や地域貢献をこれからも進めていこうと思えます。

改善を求められる点について

1. 中・長期計画については、業務担当者とともに、収支計画を作成し具体的な実施  
項目、実施時期を明示し、実施状況の評価・見直しを進めていきたいと思いま  
す。

指導計画実施結果について

2. 全職員が互いの学びのレベルを向上するように、会議の持ち方を見直し、向上に  
努めたいと思えます。

最後に、第三者評価の内容が大幅に変わり、戸惑いもありましたが、事前説明や随  
所の確認等、丁寧に対応していただき、予定通り進めることができました。今回の受  
審を受け、今後の運営に役立てていきたいと思えます。

評価に携わってくださった関係者の皆様、ありがとうございました。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり